

2025年度 経営学部 経営コミュニケーション学科

9月総合型選抜 課題

<テーマ>

企業と社会を豊かにするために、企業同士の協力関係をデザインしよう。

<テーマに関する背景>

近年、自社だけではなく他社と協力しながら活動する企業が多くなっている。人口減少によって国内の市場規模が縮小に向かうなか、大切なのは、人も企業も「協力」である。私たちの身近な国内に目を向けると、同業種・異業種で企業の提携、合併、経営統合など、メディアが頻繁に取り上げて報道している。これらの協力は、お互いの資本力、技術力、経営力といった強みを積極的に活用して事業を拡大したり、新しい事業や価値を創造してビジネスを展開するために行われている。

これらの活動は企業の利益だけでなく、私たちや社会にも貢献している。2024年2月8日に「三菱商事・KDDI・ローソン、資本業務提携契約を締結」が発表された。商社、電気通信事業、コンビニエンスストアの異なる3つ業界・業種間で、なぜ協力するのだろうか。各社はどのような協力をして、どのようなメリットを得ることができるのか。以下の URL (<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2024/02/06/7237.html>) を読むと、私たちに有益な提携であることが理解できるだろう。その他、日本郵便と楽天の資本業務提携、コカ Cola ファインとマツモトキヨシの M&A による経営統合など、同業種・異業種が多様な形で提携している。

物質的に豊かな時代の私たちは、商品・サービスの購入に精神的な豊かさを求め、いつ (when)、どこで (where)、どの企業の (who)、何の商品 (what)、なぜ (why) どのように (how) に購入するかに価値をおく。企業間の協力は私たちの求める価値を提供する活動の1つであり、私たちが自らニーズを発信することで企業活動に参加していることでもある。そうであるなら、企業が他社と協力して何をどのように実現しようとしているのか、私たちが理解することは重要である。

そこで、以下の問いに答えなさい (800字程度)

<設問>

- 1) あなたが新しく協力すべきだと考える企業 (2社、または3社) をあげ、それぞれの企業の概要を簡潔に説明しなさい。
- 2) それらの企業がどのような目的で何に取り組むのか、私たちや社会にどのように貢献するのか、あなたの考えを記述しなさい。

※試験日当日に発表された課題に対するレポート作成を行っていただきます。

※試験時間は60分です。

経営学部 経営コミュニケーション学科

9月総合型選抜課題 参考情報

<課題作成のヒント>

- ・企業が協力すれば、魅力的な商品・サービスになる、新しい商品・サービスが創出できるというあなたの自由な発想が重要である。企業を選び（2社または3社）、インターネットを使って各企業の公式HPで企業に関する情報を収集し、現状についてまとめる。
- ・設問2は、あなたの考えを述べることが重要である。ただし、あなたが考える協力関係が、経営用語の提携（戦略的提携、資本提携、技術提携、資本業務提携）、合併、買収などのどれにあたるのかを、インターネットの検索や戦略論のテキストを調べて示す。
- ・すでに提携などが公表されている企業は除いて、課題を作成する。